



外国人診療向上のための 研修会: 関東に住む英語 を話す外国人の現状

五十嵐 ナーヤ ハーパー¹
2024年03月6日

内容

- 01 自己紹介
- 02 日本に住む外国人(国籍別)の概要
- 03 日本に住む英語を話す外国人の多様性
- 04 医療に関して日本に住む外国人の直面する問題
- 05 医療に関して日本に住む英語を話す外国人の直面する問題
- 06 有効な取り組みの提案
- 07 英語を話す外国人居住者からのお願い
- 08 まとめ

自己紹介

米国(St. Louis, Missouri 州)生まれ

Missouri州, Texas州, Louisiana州, New York州 + イギリスに在住

英語：母国語、 日本語：ビジネスレベル

学歴

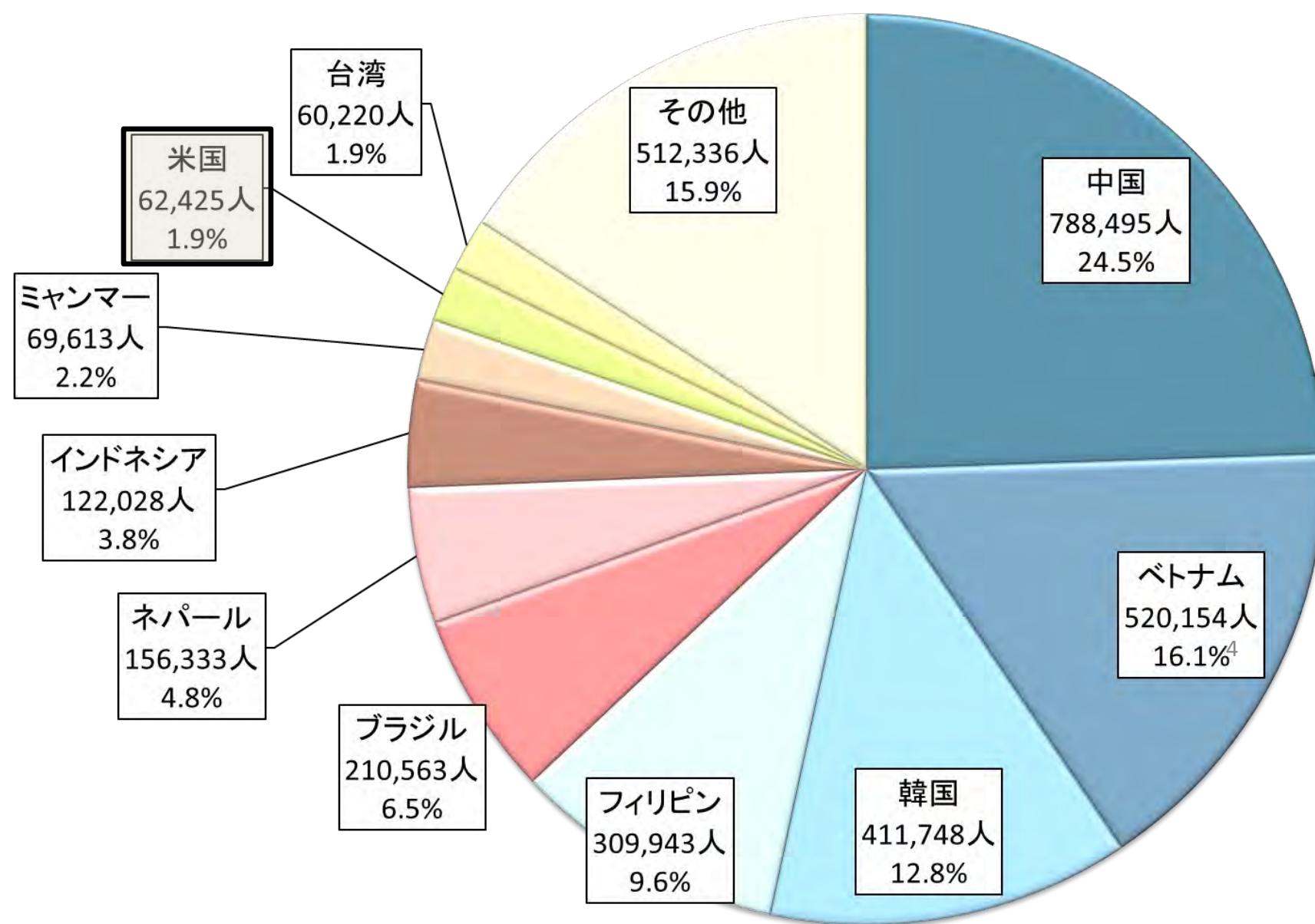
- 2003 医学生物学/ 歴史 学士 (Xavier University, 米国)
- 2005 インターナショナルビジネス 修士 (Regents College, イギリス)
- 2009 来日(浜松市 1年 + 東京 14年)
- 2022 東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 修士

現在

- 東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 博士後期課程
- プログラム スペシャリスト, 日本医療政策機構
- 二児の母 (日本生まれの男の子5歳、女の子2歳)



日本在住外国人(国籍別)の概要



国籍・地域	令和3年末 (2021)	令和4年末 (2022)	令和5年 6月末 (2023)	構成比 (%)
総数	2,780,635	3,075,213	3,223,858	100.0
中国	716,606	761,563	788,495	24.5
ベトナム	432,934	489,312	520,154	16.1
韓国	409,855	411,312	411,748	12.8
フィリピン	276,615	298,740	309,943	9.6
ブラジル	204,879	209,430	210,563	6.5
ネパール	97,109	139,393	156,333	4.8
インドネシア	59,820	98,865	122,028	3.8
ミャンマー	37,246	56,239	69,613	2.2
米国	54,162	60,804	62,425	1.9
台湾	51,191	57,294	60,220	1.9
その他	420,218	492,261	512,336	15.9

参照：出入国在留管理庁

□ 2023年6月末の米国人の人口62,425人 (1.9%)

日本在住英語を話す 外国人の多様性

- 日本に住む外国人は一様ではありません。主に英語を使って日本でコミュニケーションをとる人にも同じことが当てはまります。
- 日本に住む英語を話す外国人の間ではかなりの多様性があり、彼らが日本の医療制度をどのように経験しているかが異なります。
- 英語を母国語とする外国人居住者だけでなく、第二言語として英語でコミュニケーションをとる外国人居住者の生きた経験の理解が大切です。

5



医療に関して日本に住む外国人の直面する問題

Received: 12 July 2021 | Revised: 17 November 2021 | Accepted: 19 November 2021
DOI: 10.1111/phn.13026

POPULATION STUDY

PHN Population Health Nursing WILEY

Healthcare needs and experiences of foreign residents in Japan by language fluency

Miyoko Okamoto PhD, RN, PHN, MPH, Associate Professor¹ | Yui Matsuda PhD, PNHA-BC, MPH, Assistant Professor² | Cynthia L. Foronda PhD, RN, CNE, CHSE, ANEF, FAAN Professor of Clinical²

本研究の対象者 (n=209) は、首都圏在住の外国人 (学生を除く) でした。

最も多かった問題点としては、「コミュニケーションの問題」「病気や治療についての説明不足」「サービス利用の手続き体制」などが挙げられました。

An Exploratory Quantitative Study of Factors Associated with Dissatisfaction with Japanese Healthcare among Highly Skilled Foreign Professionals Living in Japan

by Tomoari Mori^{1,2}, Yoko Deasy¹, Katsumi Mori³, Eisuke Nakazawa³ and Akira Akabayashi^{3,4,*}

¹ Health Center, Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST), Okinawa 904-0495, Japan
² Department of General Medicine, University of Occupational & Environmental Health, Japan (UOEH), Fukuoka 807-8556, Japan
³ Department of Biomedical Ethics, Faculty of Medicine, University of Tokyo, Tokyo 113-0033, Japan
⁴ Division of Medical Ethics, School of Medicine, New York University, New York, NY 10016, USA
* Author to whom correspondence should be addressed.

BioMed 2022, 2(4), 431-441; <https://doi.org/10.3390/biomed2040034>

Submission received: 31 August 2022 / Revised: 15 November 2022 / Accepted: 23 November 2022 / Published: 28 November 2022

この研究の対象者 (n=90) は、沖縄のOIST大学に勤務する高度外国人材であり、一般に日本の医療に満足していました。

しかし、医療への不満は「医療従事者とのコミュニケーションへの不満」や「医療提供者が自分たちの文化や宗教を考慮してほしいというニーズ」と関連していました。

医療に関して日本に住む英語を話す外国人の直面する問題

□ 英語を母国語とする 9 名と第二言語として英語でコミュニケーションをとる 3 名の計12名に対して深層インタビューが実施されました。

インタビューした外国人の基本情報		n=12	
		n	%
年齢 Age	20s	1	8.33
	30s	7	58.33
	40s	4	33.33
性別 Gender	Male	4	33.33
	Female	8	66.67
日本に住む期間 Years living in Japan	1-2 yrs	1	8.33
	3-5 yrs	2	16.67
	6-10 yrs	3	25.00
	more than 10 yrs	6	50.00
日本語の能力 Japanese language	None (無し)	1	8.33
	JLPT N5 (初級)	1	8.33
	JLPT N4	2	16.67
	JLPT N3 (中級)	3	25.00
	JLPT N2	3	25.00
	JLPT N1 (上級)	2	16.67
家庭 Living/Family situation	独身・一人暮らし	4	33.33
	日本人と結婚・夫婦暮らし	4	33.33
	外国人と結婚・夫婦暮らし	4	33.33
国籍 Nationality	USA	5	41.67
	UK	2	16.67
	Canada	2	16.67
	Bangladesh	1	8.33
	Argentina	1	8.33
	Uzbekistan	1	8.33

